

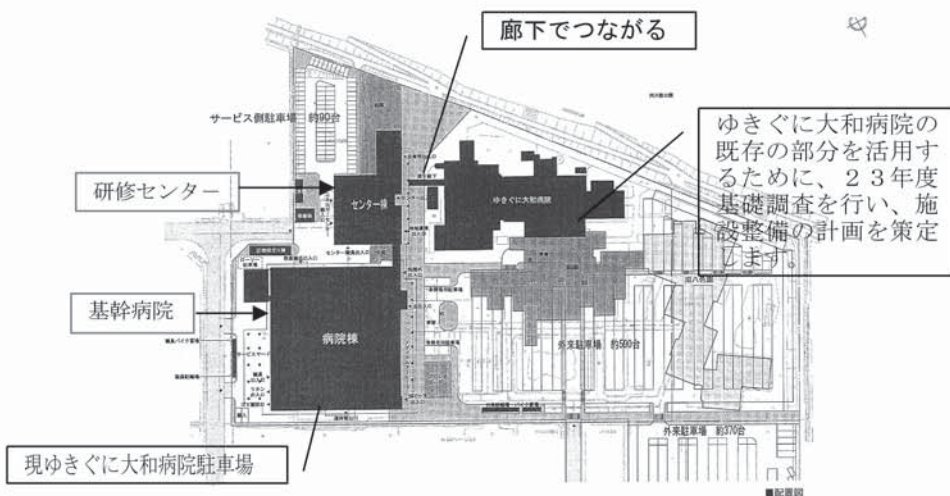


魚沼基幹病院（仮称）
病床数：454床
診療科：19科
（2次3次医療を担う）

見えてきた！基幹病院と 市立ゆきぐに大和病院・新六日町病院との連携

2／1に市の「地域医療対策調査特別委員会」があり、同日夜は県主催の「魚沼地域医療整備協議会」が市役所大和庁舎で開催。ようやく「魚沼基幹病院」と「ゆきぐに大和病院」「新六日町病院」の連携の概要が見えてきました。

	【ゆきぐに大和病院】	【新六日町病院】
病 床 数	40床（現在199床）	120床（現在199床）
診 療 科	総合診療科、内科、外科、整形外科、歯科、小児科	内科、外科、整形外科、精神科、神経内科、麻酔科の他に、診療支援による定期的な外来診療として小児科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、も標榜。



【基幹病院 今後のスケジュール】

H23.3 月末基本設計 H23 年度実施設計 H23 年度着工
H24.4 財団法人設立 H27.6 頃 開院

裏面も注目！「大原運動公園（野球場）整備計画3案比較

さとう つよし
佐藤 剛



基幹病院特別号No.6

（裏面：大原運動公園野球場問題）
2011. 2. 20

発行責任者

南魚沼市議会議員 佐藤剛

南魚沼市浦佐3874番地

TEL 777-3378

私の視点

●「形」は決まったが…

「地域医療」をどう守るか、本来ならビジョンを持って、それを実現するために「形」を整えていくべきとも思うが、「形」が先に決まった…これから、この形に「役割」をつけ「連携」していくのだが、実質的な医療再編はこれからが重要！

●市立病院の「医師確保」は

基幹病院が2次・3次医療を担う。したがって、市立病院（大和病院、新六日町病院、城内診療所）は1次医療が主。それに基幹病院との連携での2次医療。経営的にも不安は大きい、それ以上にそういう医療機関での医師確保は更に難しくなることも懸念される。医師にとって、魅力ある病院をどうめざすか重要だ

ホームページ・ブログ
も見てください



http://www.paw.hi-ho.ne.jp/go_sato/ 又は yahoo!
で南魚沼市議会議員佐藤剛で検索

大原運動公園(野球場含む)整備方針案出る！

2/16「議会全員協議会」で大原運動公園整備計画の整備規模別の比較も含めた、整備方針案が示されましたが、今後更に実施計画を策定しながら検討していきます。

主な施設の概要 (市整備方針案)

【多目的グラウンドの概要】

- ・サッカーコート (人工芝)
- ・少年野球場
- ・ランニングコース
- ・100m走路 4レーン (グラウンド内)
- ・ナイター照明 (レク仕様)

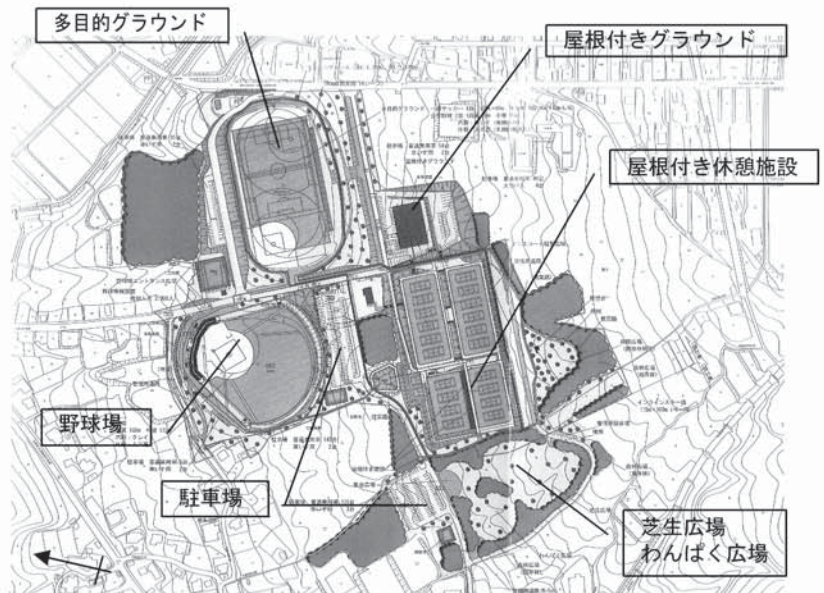
【屋根付きグラウンドの概要】

鉄骨造 外壁なし W20m×L40m

【屋根付き休憩施設】

テニスコート付帯整備 5×30m×②

【野球場3案の概要】



検討委員会答申案	市の整備方針案	既存改修案
・両翼 100m 中堅 122m ・人工芝 ・イス席 2000 ・室内練習場 あり ・内野スタンド屋根 あり ・外野席 あり ・スコアボード選手名 あり ・照明硬式一般用	・両翼 100m 中堅 122m ・人工芝 ・イス席 1000 ・室内練習場 なし ・内野スタンド屋根 なし ・外野席 なし ・スコアボード選手名 なし ・照明軟式一般用	・両翼 100m 中堅 122m ・人工芝 ・イス席 500 ・室内練習場 なし ・内野スタンド屋根 なし ・外野席 なし ・スコアボード選手名 なし ・照明軟式一般用

3案の概算事業費比較

	野球場	屋根付きグラウンド	多目的グラウンド	他の工事	合計
検討委員会答申案	20億48百万円	答申案はスタンド下に屋内練習場含	5億31百万円	4億97百万円	30億76百万円
市整備方針案	13億97百万円	2億18百万円	5億24百万円	7億16百万円	28億55百万円
既存改修案	9億8千万円	2億18百万円	5億24百万円	7億16百万円	24億38百万円

※維持管理費の詳細は今回提示なし。

私の視点

●議員としての基本

市民要望は1つでも多く実現したい。しかし、その背景の「財政」は常に考えなくてはならない。その中での判断が、議員としての基本だと思う。

●「財政」に関する認識

合併特例債事業を中心とする、当面の事業実施の面からは、財政の将来見通しは、ある程度「たった」のかもしれないが、これからの行政課題や市民ニーズからは、財政運営は更に慎重であるべき。

●何を1番に考えるか

大原運動公園整備や野球場整備に全て反対するものでないが、子ども達や市民が夢と自信を持ったり、育てる観点での「環境」整備を第1に考える。そのための実質的な「施設の充実」に財政が許す中で努力する。その結果としてBCリーグ等が来てくれればいいが、それが第1ではない。

●雪国であることは避けられない

予定事業の「屋根付きグラウンド」は、統合後に空く小学校体育館の床を土に変え活用するとか、野球場の「イス席」はコンクリートの階段式にするとか、雪国での維持管理上、更に工夫が必要だ。